新年あけましておめでとうございます。本年もどうぞ宜しくお願い致します。

さて、令和5年度は3名の専攻医を新たな仲間として迎えることになりました。3名とも大学以外（公立藤田病院、いわき市医療センター、会津医療センター）で初期研修を受けたフレッシュマンです。各施設でご指導、ご協力頂きました先生方にこの場をお借りして深謝申し上げます。期待に胸を膨らませ仲間に加わる彼らの思いに応えられるよう、精一杯指導していきたいと思います。

令和4年度は大変うれしいニュースが続きました。専攻医の遠藤麻美子先生が8月に、そして尾張真維先生が2023年元旦にご出産されました。講座開講当時から、女性に優しい医局づくりを目指して参りました。今後、育児を行いながら仕事のできる環境をさらに整えていきたいと思います。お二人が内科専門医、血液内科専門医を取得し順調にキャリアアップを続け、後に続く女性医師のお手本になってくれることを期待します。

ここ数年の分子標的薬の開発により血液がんの治療成績は改善を続けていますが、未だ満足できるレベルには達していません。さらなる生命予後の改善を目指し、様々な新薬の開発が進んでいます。私たちは臨床試験への参加を通して、県民の皆様の健康に寄与すると同時に医学の進歩に貢献して参りたいと考えています。急性骨髄性白血病や骨髄異形成症候群を対象としたいくつかの試験では、患者登録数が全国一位を獲得しており、福島県立医科大学血液内科のプレセンスを全国に発信できているものと思います。今後も引き続き企業治験や医師主導治験には積極的に参加していきたいと思います。

令和4年度はサッカーファンであるかないかに関わらず、日本中の国民がワールドカップサッカーに熱狂したのではないでしょうか。最後まで決してあきらめずピッチ上で必死に頑張る選手たちから、たくさんの勇気と感動をもらいました。近い将来、侍ブルーの勇姿をワールドカップ決勝戦のピッチで見ることも決して夢ではなくなったと確信したのは私だけではないと思います。日本チームがここまで強くなった原動力の一つは、海外の一流クラブチームで切磋琢磨する日本人選手が増えたことにあると思います。医局の先生方も是非、国内外を問わず外の世界に研修に出ていただきたいと思います。そこで経験することは自身のためだけでなく、必ずや私たち組織にとっても大きな財産になると確信しています。

みなさん、さらなる高みを目指して頑張っていきましょう！